

## I-i. 栄養・食生活

### 【重点課題】

- ① 子ども青少年期に対しては、依然、朝食を欠食する者がいることから、毎日3食、食べることを推奨する必要があります。
- ② 思春期や若い世代の女性に対しては、ダイエット等のリスクとともに、適正体重に関する知識の提供を行う必要があります。
- ③ 青年・壮年期に対しては、男性の肥満対策が重要です。BMIの数値から、肥満に該当する者が多いため、肥満対策を重点的に行う必要があります。
- ④ 高齢期に対しては、低栄養状態にあると思われる者がいることから、高齢期における正しい食のあり方に関する知識の提供を行う必要があります。

### 【指標】

項目	堺市				
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分	
子ども青少年期					
朝食を毎日食べる子どもの割合	小学5年生	87.3%	100%	85.2%	D
	中学2年生	79.8%		79.6%	C
青年・壮年期					
朝食を欠食(週4日以上欠食)する者(20歳代男性)の割合		21.4%	15%	23.2%	D
適正体重を維持する者の割合	20～60歳代男性の肥満者の割合	28.9%	28%	26.4%	A
	20歳代女性のやせの割合	21.9%	20%	22.7%	C
野菜料理を毎日摂っている者の割合		83%	100%	85.7%	B
高齢期					
低栄養傾向にある者(BMI≤20)の割合 ※65歳以上		18.4%	増加の抑制	19.4%	A

低栄養傾向にある者の割合の判定区分については、65歳以上の高齢者のうち、75歳以上の後期高齢者の占める割合は42.0%から45.6%と3.6%増加しているが、低栄養傾向にある者の割合は+1%以内と横ばい・現状維持であり、増加が抑制されているためA評価とした。

【判定区分】A「目標達成」B「改善」C「横ばい・現状維持」D「悪化」「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

## 目標：バランス良く食べて、適正体重を維持する

主な事業	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
乳幼児健康診査における栄養指導、食生活チェックの実施	栄養①	集団指導：333回 12,550人 個別指導：1,372人	集団指導：332回 12,314人 個別指導：1,437人
保育所（園）・幼稚園・学校などにおける食育の推進	栄養⑤	24回 1,172人	19回 643人
食育体験講座、夏休み親子クッキングなどの体験型健康教育	栄養⑦	68回 1,926人 (うち親子クッキング 27回 753人)	71回 1,797人 (うち親子クッキング 27回 702人)
保健センターによる健康教育・健康相談	栄養⑨	集団指導 208回 4,058人 個別指導 255回 1,483人	集団指導 170回 3,321人 個別指導 274回 2,007人

## I-ii. 身体活動・運動

### 【重点課題】

- ① 子ども青少年期に対しては、健やかな心身の成長のために、身体を使ってしっかり遊ぶことを勧めることが必要です。
- ② 青年・壮年期に対しては、特に男性の肥満対策が重要です。運動習慣者が少なく、日常生活における歩数も少ないことなどから、「栄養・食生活」の習慣化とともに、運動の側面からも取り組むことが必要です。
- ③ 高齢期に対しては、運動器の機能低下により要介護になるリスクが高まるため、関節疾患や体力低下などによる生活機能低下（ロコモティブシンドローム）に対する正しい知識を提供し、様々な地域活動や社会参加の場づくりを行い、いつまでも健やかに、いきいきと毎日を過ごすことが必要です。

### 【指標】

項目	堺市				
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分	
子ども青少年期					
子どもの体力(市立小学5年生の体力テスト平均値)(全国を100とした場合)	93.2	100	97.4	B	
青年・壮年期、高齢期					
運動習慣者 (1回30分以上の運動を週2回以上行う者)の割合	男性	37.5%	47.5%	28.5%	D
	女性	33.8%	45.0%	20.3%	D
日常生活における歩数 ※直近3年の国民健康・栄養調査の平均値	男性	6,788歩	8,500歩	8,001歩	B
	女性	6,003歩	7,500歩	7,055歩	B

【判定区分】 A「目標達成」 B「改善」 C「横ばい・現状維持」 D「悪化」 「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

## 目標：しっかり体を動かし、体力をつける

主な事業	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
体育館等におけるライフステージに応じたスポーツ教室	運動①	教室参加者数 175,423人 (185教室を実施)	教室参加者数 173,016人 (183教室を実施)
初心者等を対象とした運動教室	運動③	40回 1,305人	48回 743人
自主活動グループ育成	運動⑭	新規3グループ	新規3グループ
ウォーキング大会などイベント	運動⑰	ウォーキング大会 3回 チューブ体操大会 1回 193人	ウォーキング大会 2回 チューブ体操大会 1回 203人
介護予防に取り組むグループへの継続支援	運動⑳	39回 786人	57回 1,306人

## I-iii. こころの健康

### 【重点課題】

- ① 子ども青少年期に対しては、早寝、早起きといった生活習慣を身につけることが必要です。
- ② 青年・壮年期に対しては、睡眠の質を確保し、十分な休息を得ることに関する知識の提供を行うことが必要です。
- ③ 世代に関わらず、ストレスが多いと感じている者が多いため、メンタルヘルスに関する知識の提供を行うことが必要です。
- ④ こころの病気への対応を多くの者が理解し、自己と他者のために取り組むことが不可欠です。

### 【指標】

項目	堺市				
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分	
子ども青少年期					
夜11時までに就寝している子どもの割合	小学5年生	82.5%	増加	80.7%	D
	中学2年生	36.3%		34.8%	D
「自分には良いところがある」とする子どもの割合	小学5年生	70.5%	増加	76.0%	A
	中学2年生	55.3%		65.0%	A
青年・壮年期					
ストレスが多いと感じる者の割合		29.8%	25%	28.2%	B
高齢期					
うつ・閉じこもり・認知症リスクのある者の割合 ※65歳以上	うつ	21.9%	減少	※18.9%	-
	閉じこもり	6.5%		※2.6%	-
	認知症	19.8%		※10.8%	-

※うつ・閉じこもり・認知症リスクのある者の割合の最終評価値は、平成26年3月堺市高齢者等実態調査報告書による数値。

【判定区分】 A「目標達成」 B「改善」 C「横ばい・現状維持」 D「悪化」 「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

## 目標：睡眠で休養が充分とれる

主な事業	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
こころの健康づくり講演会	こころ ⑫	187人参加 相談：5組	316人参加 相談：5組
かかりつけ医うつ病対応力向上研修の実施	こころ ⑮	49人参加	83人参加
啓発パネル展示や街頭キャンペーンなど啓発イベントの実施 自殺予防週間・自殺対策強化月間	こころ ⑳	中百舌鳥駅にて街頭啓発キャンペーン、自殺予防啓発パネル展示（2回）	中百舌鳥駅にて街頭啓発キャンペーン（2回）、自殺予防啓発パネル展示（1回）
精神科医師による相談、精神保健福祉相談員による個別相談	こころ ㉑	【医師】各保健センターで週1回程度 314人 【個別】随時 34,203人	【医師】各保健センターで週1回程度 354人 【個別】随時 30,613人
こころの電話相談、専門相談	こころ ㉒	電話相談 2,488件 専門相談 5,912件	電話相談 2,626件 専門相談 6,387件

## I-iv. たばこ

### 【重点課題】

- ① 子ども青少年期に対して、たばこを吸わせないために、喫煙が及ぼす健康影響についての知識の啓発を行う必要があります。特に中学生から高校生への移行期など重点を絞った関わりが必要です。一方で、子どもを受動喫煙の機会から遠ざけることも重要です。
- ② 青年・壮年期以降の世代に対しては、喫煙が及ぼす健康影響についての知識の提供を行うことが必要です。特に、青年・壮年期は喫煙率が高いため、禁煙指導を行うことが必要です。
- ③ 青壮年期以降の喫煙者に対して、受動喫煙が及ぼす健康影響についての知識の提供を行い、非喫煙者に受動喫煙の機会を与えないようにすることが重要です。

### 【指標】

項目	堺市				
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分	
子ども青少年期					
喫煙率(最近1か月の間にたばこを吸ったことがある者の割合)	小学6年生	1.9%	0%	0.2%	B
	中学2年生	1.5%		0.5%	C
	16歳	4.3%		1.3%	B
受動喫煙の機会を有する子どもの割合	小学6年生	74.6%	10%未満	64.2%	B
	中学2年生	63.9%		55.7%	B
妊娠中の喫煙率(母子健康手帳交付時の割合)		6.2%	0%	4.0%	B
青年・壮年期、高齢期					
喫煙率	男性	27.5%	22.0%	22.7%	B
	女性	9.0%	7.0%	6.8%	A
受動喫煙の機会を有する者の割合	家庭内	19.1%	10%未満	12.7%	B
	職場	26.5%		13.4%	B

【判定区分】 A「目標達成」 B「改善」 C「横ばい・現状維持」 D「悪化」「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

## 目標：未成年はたばこを吸わない 大人は、まず禁煙、受動喫煙させない

主な事業	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
小・中学校における正しい知識の教育(学校保健連絡会等)	たばこ③	情報提供：41校 媒体や資料の貸出：9校	情報提供：74校 媒体や資料の貸出：3校
乳幼児健康診査時における保護者に対する禁煙教育(4か月児)	たばこ⑥	6,361人	6,217人
妊婦面接時における妊婦及びその家族に対する禁煙教育	たばこ⑦	妊娠届出数：6,702人	妊娠届出数：6,407人
保健センターにおけるイベント等開催時の禁煙相談	たばこ⑧	76人	66人
喫煙と受動喫煙が及ぼす健康影響について出前講座や健康教育	たばこ⑬	21回	15回
受動喫煙が及ぼす健康影響についての相談があった際に施設や管理者を訪問	たばこ⑭	14件	9件

## I-v. アルコール

### 【重点課題】

- ① 子ども青少年期に対して、アルコールが及ぼす健康影響についての知識の提供が必要です。
- ② 青年・壮年期以降の世代に対して、生活習慣病のリスクを高める飲酒量に関する知識など、適正飲酒と酒害に関する知識の提供が必要です。また、子どもの飲酒による健康影響についての知識を提供し、「未成年には飲ませない」意識を持つことが必要です。
- ③ 飲酒行動は、ストレスや睡眠との関係も深いことから、「こころの健康」対策と合わせて、取り組む必要があります。
- ④ アルコール依存症や肝疾患など、疾患についての正しい知識を持ち、飲酒量のコントロール不能など悩みを抱えた時の適切な対処法などについての知識の提供が必要です。
- ⑤ 女性の多量飲酒者の増加への対策として、啓発が必要です。

### 【指標】

項目			堺市			
			(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分
子ども青少年期						
コップ1杯以上のアルコールを最近1か月の間に飲んだことのある者の割合	中学生	男性	5.7%	0%	3.6%	B
		女性	11.0%		0.5%	B
	16歳	男性	9.3%		7.6%	B
		女性	4.7%		5.2%	C
妊婦の飲酒率(妊娠届出時の面接アンケートより)			0.6%	0%	0.3%	C
青年・壮年期、高齢期						
多量飲酒している者(1日に清酒換算で3合以上)の割合	男性	6.1%	4.1%	7.7%	D	
	女性	1.9%	0.2%	2.5%	C	

【判定区分】A「目標達成」B「改善」C「横ばい・現状維持」D「悪化」「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

## 目標：未成年は飲まない 大人は、適正飲酒、未成年に飲ませない

主な事業	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
妊婦届出時における妊婦への健康指導	アルコール ③	6,702人	6,407人
アルコール関連問題等に関する出前講座	アルコール ⑥	実施回数3回 109人参加	実施回数3回 97人参加
アルコール関連問題啓発週間	アルコール ⑦	アルコール等依存者支援 講演会 106人参加	アルコール等依存者支援 講演会 47人参加

## I-vi. 歯と口の健康

### 【重点課題】

- ① 子ども青少年期に対して、むし歯や歯肉炎予防のための規則正しい生活習慣の獲得と、よく噛んで安全に飲み込むなどの食べ方を育むための取り組みが必要です。
- ② 青年・壮年期に対して、むし歯や歯周病予防のための口腔ケアを推進し、健全な口腔管理を維持するための取り組みが必要です。
- ③ 高齢期に対して、加齢による口腔機能の低下を防ぐための取り組みが必要です。
- ④ 全ての世代に対して、「8020（ハチマルニイマル）運動」推進のための定期的な歯科検診の啓発と、食べ方を通じた健康増進のための「噛ミング30（カミングサンマル）」推進の取り組みが必要です。

### 【指標】

項目	堺市				
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分	
<b>子ども青少年期</b>					
3歳児でむし歯のない児の割合	78.4%	90%	81.9%	B	
3歳児でおやつ回数が1日2回以下の児の割合	92.5%	95%	91.9%	C	
12歳児でむし歯のない者の割合	58.8%	65%	62.1%	B	
<b>青年・壮年期、高齢期</b>					
歯ぐきの状態	20歳代で歯肉に炎症のない者の割合	67.4%	75%	68.0%	C
	40歳代で進行した歯周炎がない者の割合	69.6%	80%	73.5%	B
	60歳代で進行した歯周炎がない者の割合	60.4%	70%	63.3%	B
歯の状態	40歳で喪失歯のない者の割合 ※35～44歳	71.0%	80%	68.0%	D
	60歳で24本以上自分の歯をもつ者の割合 ※55～64歳	62.3%	70%	65.6%	B
	80歳で20本以上自分の歯をもつ者の割合 ※75～84歳	52.0%	60%	43.5%	D
歯間清掃用具を使用する者の割合(35歳～44歳)	54.1%	70%	63.2%	B	
過去1年以内に歯科検診を受けた者の割合	34.1%	65%	66.5%	A	
口腔機能の状態 60歳代における何でも噛んで食べることのできる者の割合	68.7%	80%	75.2%	B	
お口の体操を行ったことのある者の割合 ※市政モニターアンケート	12.5%	25%	15.7%	B	

【判定区分】 A「目標達成」 B「改善」 C「横ばい・現状維持」 D「悪化」 「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

**目標：健康づくり、みんなで取り組む<sup>けんこう</sup>健口づくり**

主な事業	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
保育所（園）、幼稚園、学校、職域における歯科口腔保健の推進	歯と口④	216回 3,636人	127回 2,652人
健全な口腔機能を育むための普及啓発	歯と口⑧	健康教育 93回 1,530人	健康教育 110回 1,827人
重症化予防のための定期的な歯科検診の啓発	歯と口⑩	歯の健康相談・健康展開催 2回 2,214人	歯の健康相談・健康展開催 2回 2,052人
お口の体操の普及啓発	歯と口⑰	172回 2,183人	148回 3,002人

## I-vii. 健康チェック

### 【重点課題】

- ① 子ども青少年期に対して、心身の健やかな成長や、大人になるために必要なことを理解して、自分や子どもの健康管理に必要な知識を提供する必要があります。
- ② 青年・壮年期以降に対して、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持ち、健康に関する定期的な自己チェックや健康診査を受けるという行動が取れるよう、取り組みを進める必要があります。

### 【指標】

項目	堺市				
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分	
<b>子ども青少年期</b>					
乳幼児健康診査受診率	4か月健診	97.7%	100%	97.7%	C
	1歳6か月健診	97.3%		97.9%	C
	3歳6か月健診	93.5%		96.2%	B
<b>青年・壮年期</b>					
特定健康診査受診率(堺市国民健康保険加入者)	26.4%	60%	27.1%	C	
特定保健指導実施者の割合	4.1%	60%	5.3%	B	
がん検診受診率の増加 市民アンケート結果 ◇胃がん・肺がん・大腸がん は40～69歳男女 子宮がんは20～69歳女性 乳がんは40～69歳女性	胃がん	36.6%	50%	44.3%	B
	肺がん	41.0%	50%	50.4%	A
	大腸がん	39.8%	50%	46.2%	B
	子宮がん	40.5%	50%	46.9%	B
	乳がん	38.2%	50%	45.0%	B
(参考)堺市が実施している がん検診の受診状況	胃がん	3.8%	—	4.7%	/
	肺がん	4.0%	—	4.6%	
	大腸がん	12.7%	—	12.2%	
	子宮がん	21.6%	—	23.6%	
	乳がん	15.7%	—	18.8%	
<b>高齢期</b>					
かかりつけ医・かかりつけ 歯科医・かかりつけ薬局を持つ 者の割合 ※65歳以上	医師	84.4%	100%	87.3%	B
	歯科医師	47.7%	80%	81.4%	A
	薬局	21.6%	50%	60.7%	A

【判定区分】 A「目標達成」 B「改善」 C「横ばい・現状維持」 D「悪化」 「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

## 目標：自ら健康管理ができる

主な事業	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
かかりつけ医等に関する啓発冊子の配布	チェック②	家庭訪問数（面接あり） 5,945件	家庭訪問数（面接あり） 6,022件
「健康手帳」の配布と利用促進	チェック③	9,105冊	12,633冊
母子の健康管理の必要性を啓発	チェック⑧	1,403回 27,782人	1,369回 25,744人
定期的に健康診査や検診を受けることの必要性を啓発	チェック⑩	173回 2,468人	182回 3,309人
保健センター事業や検診情報を記載した保健事業案内の全戸配布	チェック⑫	全世帯（404,883部）	全世帯（405,449部）

## Ⅱ-i. 市民による地域づくり

主な取り組み	シート 番号	平成29年度実績	平成30年度実績
健康づくり自主活動グループ等の育成・支援	Ⅱ-i ②	168回 3,020人	202回 3,058人
食生活改善推進員の育成と活動支援	Ⅱ-i ④	研修会 16回 地域活動 345回	研修会 16回 地域活動 321回
8020普及推進員の育成と活動支援	Ⅱ-i ⑤	定例会 101回 1,299人	定例会 95回 1,175人
在宅保健専門職グループとの連携	Ⅱ-i ⑥	研修会 2回 地域活動 19回	研修会 2回 地域活動 20回
こころの健康を支援する体制づくり (ゲートキーパー養成研修)	Ⅱ-i ⑧	【基礎編】199人参加 【ステップアップ編】72人参加	【基礎編】283人参加 【ステップアップ編】112人参加
自助組織活動の支援 (がん患者会支援)	Ⅱ-i ⑨	講演会(定例会) 6回開催 120人	講演会(定例会) 5回開催 131人
スポーツ指導者の養成 (地域スポーツ指導者養成講座)	Ⅱ-i ⑩	地域スポーツ指導者認定者 21人(全8講座中4講座 以上受講した者)	地域スポーツ指導者認定者 7人(全8講座中4講座以上 受講した者)

## Ⅱ-ii. 事業所(企業)・団体による環境づくり

主な取り組み	シート 番号	平成29年度実績	平成30年度実績
健康づくりパートナー登録事業	Ⅱ-ii ①	162社	169社
企業との協定	Ⅱ-ii ②	全国健康保険協会の特定 健康診査実施会場で市の がん検診を同時実施	全国健康保険協会の特定 健康診査実施会場で市の がん検診を同時実施
禁煙協力施設の増加	Ⅱ-ii ③	388施設	399施設
飲食関係の協力店舗の増加	Ⅱ-ii ④	251店	257店
特定給食施設等への 指導	Ⅱ-ii ⑤	個別 30回 集団 7回	個別 26回 集団 7回
中小企業勤労者への福祉対策の充 実((公財)堺市勤労者福祉サー ビスセンター)	Ⅱ-ii ⑦	会員数 15,780人 健康管理事業利用 延べ人数 25,264人	会員数 16,204人 健康管理事業利用 延べ人数 24,127人

### II-iii. 保健医療関係団体との連携

主な取り組み	シート 番号	平成29年度実績	平成30年度実績
関連団体と協働した啓発活動の実施	II - iii ②③	健康づくり講演会、健康さかい21健康フェア、くらしの健康講座を開催	健康づくり講演会、健康さかい21健康フェア、くらしの健康講座を開催

### II-iv. 健康につながる施策の推進

主な取り組み	シート 番号	平成29年度実績	平成30年度実績
路上喫煙等対策事業	II - iv ①	路上喫煙等マナー向上重点啓発区域内において、重点的な啓発及び清掃活動を伴う巡回、指導を実施した。	新たに路上喫煙等マナー向上重点啓発区域「堺市駅周辺及び堺市駅前商店街周辺」を指定した。
日常的な自転車利用の拡大	II - iv ②	コミュニティサイクル利用契約台数（1日あたり）約789台	コミュニティサイクル利用契約台数（1日あたり）約799台
地産地消の推進 堺産野菜の普及	II - iv ⑤	「堺のめぐみ」取扱販売店48店、「堺のめぐみ」取扱飲食店50店	「堺のめぐみ」取扱販売店49店、「堺のめぐみ」取扱飲食店47店
おでかけ応援バス	II - iv ⑦	年間延べ 5,922,019人	年間延べ 6,080,662人
生涯学習まちづくり出前講座の実施	II - iv ⑧	335件 12,469人参加	305件 10,492人参加

### II-v. 健康格差の縮小に向けた対策

主な取り組み	シート 番号	平成29年度実績	平成30年度実績
健康への関心が低い層への働きかけ （土日の検診実施）	II - v ③	2保健センターで実施	2保健センターで実施

### Ⅲ- i . がんの発症予防と早期発見

#### 【重点課題】

- ① 子どもの頃から、がんに対して正しい知識を持つことが必要です。
- ② バランスの良い食事と野菜摂取量を増やすことが必要です。
- ③ 塩分の過剰摂取を抑えることが必要です。
- ④ しっかり体を動かし、体力をつけることが必要です。
- ⑤ 多量飲酒をしないことが必要です。
- ⑥ 喫煙、受動喫煙しないことが必要です。
- ⑦ 定期的な健康管理とがん検診を受けることが必要です。
- ⑧ がんに罹患しても、不安を軽減し、地域で生活できることが必要です。

#### 【指標】

項目	堺市				
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分	
青年・壮年期、高齢期					
喫煙率（再掲）	男性	27.5%	22.0%	22.7%	B
	女性	9.0%	7.0%	6.8%	A
多量飲酒している者(1日に清酒換算で3合以上)の割合（再掲）	男性	6.1%	4.1%	7.7%	D
	女性	1.9%	0.2%	2.5%	C
成人1日あたりの野菜の平均摂取量 ※直近3年の国民健康・栄養調査の平均値		267g	350g以上	282.9g	B
成人1日あたりの平均食塩摂取量 ※直近3年の国民健康・栄養調査の平均値		11.4g	8g未満	8.8g	B
特定健康診査受診率(堺市国民健康保険加入者)（再掲）		26.4%	60%	27.1%	C
特定保健指導実施者の割合（再掲）		4.1%	60%	5.3%	B
がん検診受診率（再掲） 市民アンケート結果 ◇胃がん・肺がん・大腸がんは40～69歳男女 子宮がんは20～69歳女性 乳がんは40～69歳女性	胃がん	36.6%	50%	44.3%	B
	肺がん	41.0%	50%	50.4%	A
	大腸がん	39.8%	50%	46.2%	B
	子宮がん	40.5%	50%	46.9%	B
	乳がん	38.2%	50%	45.0%	B
(参考)堺市が実施しているがん検診の受診状況	胃がん	3.8%	—	4.7%	
	肺がん	4.0%	—	4.6%	
	大腸がん	12.7%	—	12.2%	
	子宮がん	21.6%	—	23.6%	
	乳がん	15.7%	—	18.8%	

【判定区分】 A「目標達成」 B「改善」 C「横ばい・現状維持」 D「悪化」「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

#### 【取り組み】

主な取り組み	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
健康相談の実施	Ⅲ- i ①②	胃がん 51回 568人 肺がん 101回 1,708人	胃がん 27回 358人 肺がん 112回 2,010人
がん検診の実施 (胃がん)	Ⅲ- i ⑪	5.4%	6.3%
(肺がん)	Ⅲ- i ⑫	6.8%	9.2%
(大腸がん)	Ⅲ- i ⑬	13.0%	14.1%
(子宮がん)	Ⅲ- i ⑭	23.6%	24.2%
(乳がん)	Ⅲ- i ⑮	18.6%	18.9%

### Ⅲ-ii 脳血管疾患・心疾患の発症予防

#### 【重点課題】

- ① 生活習慣病やメタボリックシンドロームが引き起こす重篤な疾病について、正しい知識を持つことが必要です。
- ② バランスの良い食事と野菜摂取量を増やすことが必要です。
- ③ 塩分の過剰摂取を抑えることが必要です。
- ④ しっかり体を動かし、生活の中に運動を取り入れることが必要です。
- ⑤ 多量飲酒をしないことが必要です。
- ⑥ 喫煙、受動喫煙しないことが必要です。
- ⑦ 定期的な健康管理と健康診査を受けることが必要です。

#### 【指標】

項目	堺市				
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分	
青年・壮年期、高齢期					
メタボリックシンドロームの該当者 (特定健康診査対象者)	男性	25.5%	20.0%以下	29.8%	D
	女性	10.0%	8.0%以下	9.5%	C
メタボリックシンドロームの予防や改善のために、適切な食事、運動等を継続して実践している者の割合		50.4%	60.0%以上	66.1%	A
多量飲酒している者(1日に清酒換算で3合以上)の割合(再掲)	男性	6.1%	4.1%	7.7%	D
	女性	1.9%	0.2%	2.5%	C
成人1日あたりの野菜の平均摂取量 ※直近3年の国民健康・栄養調査の平均値(再掲)		267g	350g以上	282.9g	B
成人1日あたりの平均食塩摂取量 ※直近3年の国民健康・栄養調査の平均値(再掲)		11.4g	8g未満	8.8g	B

【判定区分】A「目標達成」B「改善」C「横ばい・現状維持」D「悪化」「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

#### 【取り組み】

主な取り組み	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
健康教育・健康相談の実施	Ⅲ-ii①	健康教育：15回 264人	健康教育：8回 95人
事業所（企業）との連携	Ⅲ-ii②	3回 42人、媒体の貸し出し1社	3回 140人、媒体の貸し出し3社
高血圧対策	Ⅲ-ii⑦	8保健センター 55回 2,179人	8保健センター 51回 2,106人
特定健康診査の受診勧奨	Ⅲ-ii⑩	27.0%	27.2%
特定健康診査の未受診者に対する受診勧奨	Ⅲ-ii⑪	あらゆる機会を活用しチラシの配布等を行った	あらゆる機会を活用しチラシの配布等を行った
特定保健指導率の向上	Ⅲ-ii⑮	特定保健指導積極的支援対象者901人のうち、指導を希望する29人に実施。	特定保健指導積極的支援対象者920人のうち、指導を希望する47人に実施。【速報値】

### Ⅲ-iii COPD(慢性閉塞性肺疾患)の予防・早期発見

#### 【重点課題】

- ① COPDの早期発見や予防に関する認知度を高めることが必要です。
- ② 日常生活動作において、呼吸苦を増強しないような工夫が必要であり、健康管理が重要です。
- ③ 発症予防と進行防止のため、喫煙、受動喫煙しないことが必要です。

#### 【指標】

項目	堺市			
	(計画策定時)	目標値	(最終評価値)	判定区分
青年・壮年期、高齢期				
COPDの認知度	37.7%	80%	44.1%	B
喫煙率（再掲）	男性	27.5%	22.0%	B
	女性	9.0%	7.0%	A

【判定区分】 A「目標達成」 B「改善」 C「横ばい・現状維持」 D「悪化」「数値未把握等の比較できない項目」は「-」としました。

#### 【取り組み】

主な取り組み	シート番号	平成29年度実績	平成30年度実績
健康教育の実施	Ⅲ-iii②	21回 796人	16回 709人
情報の発信	Ⅲ-iii⑥	歯科保健普及啓発イベント・食育推進イベント 487人	歯科保健普及啓発イベント・食育推進イベント 272人
COPDの早期発見	Ⅲ-iii⑧	肺年齢測定 356人	肺年齢測定 773人